

新市が目指すシナリオ

新市の将来像
160万人力の生活創造都市の実現

単なるベッドタウンではなく生活する人が誇りに思えてみんなが住んでみたい住み続けたいと思う都市



住宅都市としての魅力向上

人口の増加

市財政の改善

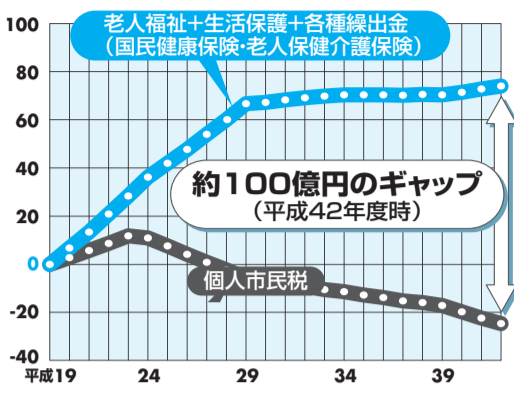
市川市の将来を考える

シンポジウムを開催

合併や政令市への移行は、最終的には皆さんが決めることです。研究会では、今回の「最終報告書(案)」の内容を紹介しながら、私たちの街の将来について皆さんと一緒に考えるリレーシンポジウムを開催します。

- リレーシンポジウム[市川会場]
～みんなで考えよう! 4市の将来～
- 4市研究「最終報告書(案)」の概要説明
 - 基調講演(四日市大学総合政策学部教授・岩崎恭典氏)
 - パネルディスカッション
- 日時 12月22日(月)午後6時30分～9時
会場 文化会館小ホール

老年人口に関連のある科目と税収との比較
(平成19年度推計値との差分 単位:億円)



これまでの研究内容

昨年の研究では、4市が合併した場合と政令市に移行した場合の効果や影響などを、政策と財政の両面から考え、その結果を今年3月に「中間報告書」として公表しました(広報いちかわ5月17日号特集にも掲載)。今年の研究では、合併して政令市となった場合を想定し、新しい市の将来像と施策について検討。そして、中間報告書と合わせて最終報告書(案)では、考えられる一つの形として「160万人力の生活創造都市」を提案します。自分が暮らす街の将来について、具体的なイメージを抱く参考にしてください。

【合併により期待される効果と影響】
政策面▶合併前の他市施設を利用できるようになるなど、広域的な行政展開による市民サービスの向上。
財政面▶大きなメリットは見いだせない。
【政令市移行により期待される効果と影響】
政策面▶国・県から事務権限が移譲され、自立的な政策を推進。区役所ごとの施策が実施できることから、より細かい行政サービスも可能。
財政面▶宝くじ収益金などの新たな財源が増えるため、住民サービス向上のための支出も増額可能。一方、国・県との協議により移譲される事業について、更なる財政負担が生じる可能性もあり。

東葛飾・葛南地域 4市政令指定都市研究会の最終報告書(案)

新市の将来像

“160万人力の生活創造都市の実現”

を提案!!

少子高齢化や生活圏の拡大、価値観の多様化など、市民を取り巻く環境の変化に行政が的確に対応していくために、市町村の垣根のない広域的な視点でのまちづくりが求められています。

市では、昨年、船橋市・松戸市・鎌ヶ谷市と共に、4市の将来像について研究する「東葛飾・葛南地域4市政令指定都市研究会」を立ち上げました。この研究会の最終報告書(案)がまとまりましたので、概要をお知らせします。

ご意見・問い合わせ ☎334-1104企画・広域行政担当

新市の将来像を提案

今年の研究では、新市の将来をどのような都市・地域にしたいのかという将来展望、イメージ、進めるべき施策について検討しました。そして、一つの試案として新市の将来像「160万人力の生活創造都市」を提案します。

【政令市移行の必要性】

地方公共団体は、将来にわたって持続的にサービスを提供し続けるために、「効率性」と「より良いサービスの提供」とを両立させなければなりません。提案した「160万人力の生活創造都市」という将来像は、合併や政令市移行によって、必然的に実現されるものではありません。しかし、県並みの権限と事務移譲に伴う財源が与えられる政令市に移行するという選択肢は、限られた財源のなかで、4市がより住みやすい街、魅力あふれる都市を築いていくための施策を戦略的に実行する上で、有効に機能する可能性が高いと考えられます。

合併や政令市への移行について、皆さんはどのように考えますか。ご意見などがありましたら、企画・広域行政担当へ。

家具修理 & リフォーム

確かな技術で「買いたくない、直して使いたい」にお応えいたします！
家具の無料相談室 お気軽にお問い合わせ下さい

見積り無料

ソファ一張替え イス張替え
家具の塗り替え 家具の改造
家具の高さつめ 家具の幅つめ
家具部品取替え 桐タンス再生

家具製造販売・修理・リフォーム **木曜定休**
〒272-0801 市川市大町124-3

赤羽根家具
TEL 047-337-8640

広告

雨漏検査!

雨漏りや漏水は大切な家やビルの大敵!!
雨漏りや壁、天井のしみを見つけたら
まずご一報下さい!

TEL 03-5875-6633

検査工法特許第1964971号で雨水の
浸入箇所をピンポイントで解明!

修繕費用の無駄はカット

(株)サーベイ

〒125-0062 東京都葛飾区青戸6-27-7

新病院の整備内容

新病院では、周産期や高齢化に対応した医療などが充実します。整備計画の概要は次のとおりです。

- **周産期医療**
新病院では、現在休止している産科を再開するなど周産期医療が充実します。
- **高齢化に対応した医療**
高齢化に対応した医療の一環として、循環器科とリハビリテーション科を新設する他、地元診療機関と積極的に連携し、市川・浦安地区の地域医療にこれまで以上の役割を担っていきます。
- **救急医療**
24時間対応の二次救急医療施設として、十分に対応できる体制を整備します。ICU(集中治療室)・CCU(冠状動脈疾患管理室)を設置します。
- **小児医療**
小児救急を含め、小児科専門医が24時間体制で診療します。
- **災害への対応**
建物を免震構造とし、地震など災害時の医療拠点となる機能を持たせます。
- **環境への配慮**
病院の敷地内に緑地を多く配置し、周辺の住民や環境に配慮した病院にしていきます。
- **その他**
 - 医療の担い手となる医師については、臨床研修指定病院とすることで安定的に確保する計画です。
 - 最新の医療機器を導入する他、患者が安心して治療を受けられるよう配慮して設計します。



完成イメージ

平成24年に

現在地で

浦安市川市民病院は 新病院に生まれ変わります

浦安市川市民病院は、来年4月の移譲先候補者に決定した社団法人地域医療振興協会が市川市と浦安市の財政支援を受け、平成24年に現在の場所に新病院をオープンする予定です。

新病院の建設期間中は、敷地の一部を使用し、工事と並行して診療を継続します。このため、病院機能を縮小することとなりますが、皆さんのご理解をお願いします。

経営移譲後の診療体制

来年4月からの診療体制は次の予定です。

診療日	日曜日・祝日と年末年始を除く毎日
受付時間	月～金曜日 / 午前9時～正午、午後2時～5時 土曜日 / 午前9時～正午
診療科目	小児医療と救急医療に必要な内科、外科、小児科、整形外科など
病床数	最大50床程度を予定
救急医療	総合医、小児科専門医による24時間365日の救急及び小児救急体制
その他	在宅介護支援センターは継続

- **充実した医療提供のために両市も支援**
充実した医療環境を整えるため、両市で97億円を限度とした施設整備の補助などを行います。
- **今後の予定**
医療計画について、社団法人地域医療振興協会と協議し、両市の12月市議会定例会で補助金などの補正予算の議決後、来年4月の移譲に向けて協定を締結する予定です。

問い合わせ
☎704-0266
保健医療課医療政策担当

7つの柱の実行

1
160万人の市民力で
創造する都市

3
女性や若者にとっても
働きやすい
ワークライフバランス都市

徹底
高い
保障

アンケートを実施

研究会の「最終報告書(案)」の公表を受け、市では、20歳以上の市民(無作為抽出で千人)を対象にアンケートを実施します。ご協力をお願いします。

中間報告書と最終報告書(案)は、市役所市政情報センター、研究会ホームページ(<http://www.4niseirei.jp>)でご覧いただけます。